

2017年9月14日

各 位

オリックス株式会社

米国でローン組成・サービシング会社を追加買収

オリックス株式会社（本社：東京都港区、社長：井上 亮）は、米国現地法人 ORIX USA Corporation（以下「OUC」）を通じて、事業用不動産ローンの組成・サービシングを主力事業とする Lancaster Pollard Holdings, LLC（本社：米国オハイオ州コロンバス、以下「Lancaster Pollard」）の発行済み株式の全てを取得しましたので、お知らせします。

Lancaster Pollard は、1988年に設立され、政府機関の米連邦住宅局（FHA）や政府支援機関である米連邦住宅抵当金庫（ファニーメイ）などの証券化プログラムを利用し、高齢者住宅を中心とする賃貸住宅向けのローン組成およびローン債権のサービシングなどを行っています。特に、FHA の高齢者住宅部門におけるローン組成で高いシェアを誇り、高齢者住宅分野での実績が同社の強みとなっています。

OUC は、事業用不動産担保ローンに関連する手数料ビジネスを長年にわたり手がけてきました。2010年5月には、低所得者用賃貸住宅向けのローン組成、サービシング事業を主業とする RED Capital Group（本社：米国オハイオ州コロンバス）を買収し（※1）、また2016年7月には低所得者向け賃貸住宅供給開発業者に与えられる税額控除制度を利用したファンド組成を行う Boston Financial Investment Management L.P（本社：米国マサチューセッツ州ボストン）を買収しました（※2）。今回、高齢者住宅に強い Lancaster Pollard を買収し、米国の住宅用不動産金融サービス市場における強固な地位の確立を目指します。

オリックスは、今後も、米国において、賃貸住宅向けローンの証券化やアセットマネジメント事業をはじめとした手数料ビジネスを推し進め、ユニークなビジネスモデルを構築してまいります。

（※1）2010年5月10日付プレスリリース「米国の有力ローン・サービシング会社を買収」

http://www.orix.co.jp/grp/pdf/news/100510_ORIXJ.pdf

（※2）2016年7月11日付プレスリリース「米国最大手 LIHTC シンジケーターを買収」

http://www.orix.co.jp/grp/news/2016/160711_ORIXJ.html

以 上

<本件に関するお問い合わせ先>

グループ広報部 橋本・松村・奥田 TEL：03-3435-3167

■本プレスリリースに関する注意事項

本プレスリリースに掲載されている、当社の現在の計画、見通し、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは、現在入手可能な情報から得られた当社の判断に基づいております。

従いまして、これらの見通しのみで全面的に依拠することはお控えくださるようお願いいたします。実際の業績は、外部環境および内部環境の変化によるさまざまな重要な要素により、これらの見通しとは大きく異なる結果となりうることを、ご承知おきください。

これらの見通しと異なる結果を生じさせる原因となる要素は、当社がアメリカ合衆国証券取引委員会（SEC）に提出しております Form20-F による報告書の「リスク要因（Risk Factors）」、関東財務局長に提出しております有価証券報告書および東京証券取引所に提出しております決算短信の「事業等のリスク」に記載されておりますが、これらに限られるものではありません。

なお、本プレスリリースは情報提供のみを目的としたものであり、当社が発行する有価証券への投資の勧誘・募集を目的としたものではありません。